



2018.11.23

Branch[ブランチ]の窓から

「branch」とは木の枝の事。

それから派生して枝分かれしたように広がる一つ一つの物を言うようです。

聖書に「わたしはぶどうの木で、あなたがたが枝です。」と書かれている箇所があります。ここに書かれているぶどうの木は、branchを訳したもの。この解釈はいろいろあることを恐れつつも、私は大きな幹から栄養をもらって伸びている蔓枝に、豊かに実るぶどうを想像するのです。

一つ一つの実が、Branchに住む住人であり、繋がる人達です。

住んでみれば、毎日いろいろな事があって、楽しかったり、嫌な気分になったり、びっくりしたり、でもはっきりしていることは、人は一人では生きられないという事。常にだれかと繋がっていたい存在なのだという事。そして豊かな実を結びたいという事。そんな思いをこの名前に託したのでした。



「多世帯で共同で暮らす」

四世帯で暮らしています。と言うと、「どんな生活をしているの？」とよく聞かれます。

現在住んでいるのは60代女性一人世帯が二世帯。一人は私。もう一人は難病を抱え多くの病状があってヘルパーや看護師などの支援が必要な方。

そして母子の一人親世帯。そして今は60代で若いけれど十年後の高齢者夫婦世帯の四世帯。どの世帯も生活をするにはちょっとした支えが必要な世帯。それならば、今までの生活や生き方を尊重して、お互い出来るところで支え合える。そんな暮らしが出来ないかなと思い始めたのは2014年の冬のどんよりとした曇り空のものと事でした。



本当に出来るのかなと、何度も何度も話し合っ、沢山の奇跡と知恵を頂いてここまで来ました。

「シェアハウス？」とも聞かれるけれど、もう少し家族的で、いろいろな立場や世代がいて家庭を作り上げるに近い気がするのですが。まだまだ一言では答えられません。けれど、この思いに共感してくださった方、応援してくださっている方にこの暮らしぶりを少しでもお伝えできたらと、「Branch」の窓からお届けします。

Branch 山科 (松本)